

上三川学校図書館ネットワークの今までの動き

1999年(平成11年)	町図書館主導による、学校図書館電算化計画始動。1年に数校ずつ、電算化処理開始。(実際の作業過程は各学校で異なる。先生方が行ったケース、図書館が職員を派遣、図書館職員がバーコード貼り、電算化したケースなどがある)
2003年(平成15年)	学校図書館(10校)電算化完了
2004年(平成16年)	上三川学校一公共図書館ネットワーク構築準備のための司書として、町内10校の学校に巡回形式で、町図書館が委託する、民間受託業務の司書が配置。(ネットワーク関係の業務を行う司書)。 司書1名が10校を担当。 1校=2時間程度、5校に1日で入る ×週2日で10校を巡回・さらに週半日(4時間程度)1校の学校図書館を整備する時間で、ネットワークを稼働させるための図書室整備を続ける。また手書きで物流も動かし始める(学校間、図書館—学校間相互貸借)。
2005年(平成17年)	司書2名が増員
2006年(平成18年)	10月にネットワーク稼働。
2007年(平成19年)	受託先が、株式会社図書館流通センター(TRC)に変更。
2008年(平成20年)	8月に、教育総務課からの受託業務で、学校司書2名が新たに増員。各小学校に、週1日入る司書(学校司書)、何時間か巡回する巡回司書のダブル配置となる。
2009年(平成21年)	巡回司書が、教育総務課からの受託業務に移行。巡回司書・学校司書ダブル配置で業務を続ける。
2010年(平成22年)	町図書館が指定管理者制度を導入(指定管理者・株式会社図書館流通センター)。学校司書責任者が町図書館を拠点に動く形へ。巡回司書、学校司書が統一されて全員学校司書になる。学校司書が小学校週2日、中学校週4時間の配置になる。学校司書のうち、数名が公共図書館との兼務になる。
2011年(平成23年)	学校司書2名増員
2015年(平成27年)	中学校の配置が、週1日に増加(1週あたり3時間増加)
2016年(平成28年)	学校司書1名増員、現在学校司書7名(責任者含む)